ジャンルから?地域から?キーワードから?モデルルートから?あいちをまるごと体験!!



風景・自然

船頭平閘門





木曽川側より閘門を望む。

水位を調整する閘室に長良川側より入るとこ ス

特色

水位の異なる木曽川と長良川を行き来する船のために造られた水門。

本 文

船頭平閘門(せんどうひらこうもん)は、愛知・岐阜・三重の三県の県境付近の福原地先にあり、明治の河川改修によって、木曽川と長良川が分流されましたが、当時は水上交通が盛んであり、水位の違う木曽川と長良川を渡るための施設として、明治35年に閘門が建設。パナマ運河によく似た構造であることから「小パナマ」と呼ばれる珍しい施設で、国の重要文化財にも指定されています。閘門の周辺は、「船頭平河川公園」として整備され、桜の名所として知られているほか、つつじ、あじさい、梅などの四季折々の花が楽しめ、多くの方が訪れています。

見ごろ

現在は、往来する船舶の数が減少したため、閘門が開閉する様子はまれにしか見られません。

桜の名所として有名な船頭平河川公園は、春先の桜が満開の時期が一番の見ごろで オ

アクセス

東名阪自動車道長島ICより5分、同弥富ICより15分、国道1号線尾張大橋より10分

駐車場の有無

有り (68台)

お問合せ

名称:船頭平閘門管理所 木曽川文庫 住所:〒496-0946 愛知県愛西市立田町福原

電話: 0567-24-6233 FAX: 0567-24-5166

ホームページ:https://www.city.aisai.lg.jp/contents_detail.php?co=&frmId=1788

県内市町村と観光協会|近隣地域の都市農村交流情報|リンク集|TOPページに戻る|上に戻る

Copyright © 2007, Aichi Prefecture. All right reserved. 各ページに掲載されているイラスト及び記事に関しての無断掲載を禁じます